

「日本年金機構ホームページの構築・移行・運用維持等業務」の調達仕様書(案)にかかる意見等

平成26年6月  
日本年金機構  
新システム開発部

標記について、意見を募集したところ、以下のような御意見等をいただきました。お寄せいただいた御意見等とそれに対する回答は次のとおりです。

項番	仕様書の該当箇所		区分	意見等内容	回答
	頁	章番号等			
1	(第1編) 6	2.5(8)	質問	「本調達による契約期間の終了後、次期ホームページ構築の調達が実施された場合は、必要な引継ぎ・教育を実施すること」と記載されていますが、この場合、契約期間終了後の作業となるため、別途契約が締結されるとの理解でよろしいでしょうか。	本調達の契約期間中に引継ぎ期間を設け、その期間中に次期ホームページ業者への引継ぎ・教育を実施することを想定していますので、本調達の範囲となります。調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
2	(第1編) 15	5.1(4)	質問	施設の立地について、施設、設備に係る要件を満たしている場合、国内外、機構本部からの距離など問わないとの理解でよろしいでしょうか。	障害復旧・問合せ対応等に関するサービスレベル要件を満たすことが可能であれば、機構本部からの距離は問いません。ただし、履行場所は日本国内に限ることとします。調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
3	(第1編) 32	10.1(4)	要望	障害発生時等の二次対応にて、再発防止策の検討及び対策が要求されるが、受託者の責めに帰すべき要因による障害のみに限定して頂きたい。	受託者の責に帰さない場合でも、ホームページを運営する上で受託者の協力が必要な場合は支援が必要となります。調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
4	(第1編) 41	12.1	要望	「18.3再委託」の章番号が誤っているため、「12.4再委託」に修正して頂きたい。	調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
5	(第1編) -	別紙1-5	質問	項番4「回答所要時間(一般問合せ)」とは、10.1(3)問合せ対応①初期運用支援に記載されているヘルプデスク対応のみを指すとの理解でよろしいでしょうか。	「10.1(3) 問合わせ対応①初期運用支援」のほか、同②「初期運用支援経過後」も含まれます。別紙1-5の項番4について、「緊急時対応・障害時対応を除く、運用・操作方法に関する問合せ」である旨を明記し、本公示において提示します。
6	(第1編) 16	5.3	質問	「将来のアクセス量、データ量の増加に備え、サーバのメモリやCPU、ディスク領域の増設等について柔軟に対応できること。」とありますが、増設の場合は別途調達と考えてよろしいでしょうか。	別途調達となります。ただし、規模・性能要件の範囲内における増加への対応については、本調達の範囲となります。

項番	仕様書の該当箇所		区分	意見等内容	回答
	頁	章番号等			
7	(第2編) 7	5.2.1	質問	「利用者の増大に対して、アプリケーションの改修を必要とせず、サーバの増設等に対応できるシステムとすること。」とありますが、増設の場合は別途調達と考えてよろしいでしょうか。	別途調達となります。 ただし、規模・性能要件の範囲内における増加への対応については、本調達の範囲となります。
8	(第1編) 4	2.4(1)②ア	質問	現行ホームページの調査・分析におけるアクセス解析は、現行ホームページのアクセスログを貴機構から提供して頂き、サイトへのアクセス傾向を分析する作業と認識しておりますが、解析対象である現行ホームページのアクセスログについて以下ご教示ください。 ①提供されるアクセスログの対象期間はどの程度を想定していますでしょうか。 ②仕様書案に記載されている指標に基づく場合、提供されるアクセスログに情報が不足していた場合、貴機構にて、上記対象期間の必要な情報を再取得していただけるとの認識でよろしいでしょうか。	①契約前約6ヶ月のアクセスログの提供を想定しています。 ②上記提供情報に不足があった場合は可能な限り再収集のうえ情報提供いたします。
9	(第1編) 4	2.4(1)③ア	質問	「サイト全体を俯瞰的に把握するためのハイレベルサイトマップを作成すること」とありますが、ハイレベルサイトマップは、第何階層程度までを想定されていますでしょうか。	詳細なサイトマップであってもサイト全体の俯瞰的な把握は可能であるため、ハイレベルサイトマップと詳細サイトマップを分離せず、「サイトマップ」の要求のみとします。
10	(第1編) 4	2.4(1)③イ	質問	「画面設計書案は、デザインを行う際の指示書となるレベルのものとする」とありますが、画面設計書案(ワイヤフレーム)で設計可能なのはレイアウト(ビジュアルデザイン以外)までと考えておりますが、よろしいでしょうか。	画面設計書案は、当該ページがどのような要素で構成されるかを確認するためのものであり、視覚的表現を確認するものではないため、ビジュアルデザインは不要です。
11	(第1編) 4	2.4(1)③ウ	質問	デザイン改定案を「3案作成すること」とありますが、これはトップページ、主要カテゴリのトップページ及び一般的なページの3種類についてそれぞれ3案作成すると理解していますが、よろしいでしょうか。	左記ご認識のとおりです。
12	(第1編) 5	2.4(2)④	質問	「3.1CMS機能要件」の内容について、CMSが標準で実装している機能で実現できない事項がある場合、機能追加・カスタマイズを実施すること。」とありますが、3.1CMS機能要件一覧は、CMSソフトウェアのみの機能要件ではなく、他製品等と組み合わせることで実現できるのであれば、それも可とする要件であると理解していますが、よろしいでしょうか。	お見込のとおり、CMSソフトウェアのみの機能だけでなく、他製品等と組み合わせることで実現可能であれば要件を満たします。 調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
13	(第1編) 6	2.5(8)	質問	「保守作業として、トラブル対応、イベント対応等を行うこと。」との記載がありますが、イベント対応とはどのような作業を想定されていますでしょうか。見積りに影響するため、保守として実施すべき作業を具体的に全て記載して頂きますようお願いいたします。	具体的な保守作業については、10章の運用・保守要件に記載しています。 調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。

項番	仕様書の該当箇所		区分	意見等内容	回答
	頁	章番号等			
14	(第1編) 7	2.6(1) 項番10	質問	テンプレート一式の成果物の説明として、「移行したコンテンツのHTMLや画像等のファイルを作成したものと記載がありますが、納入期日である平成26年11月下旬時点では、まだコンテンツは移行されておりません。テンプレート一式の説明として正しいかご確認いただけますでしょうか。	テンプレート一式の成果物について、説明の見直しを行い、本公示において提示します。
15	(第1編) 8	2.6(1) 項番12	質問	システム動作確認シナリオを成果物として納入する必要があると記載されていますが、8(2)②より、システム動作確認シナリオは貴機構にて作成されるものであり、受託者は支援することと記載されているため、納入成果物ではないと理解しております。納入成果物かどうかご確認いただけますでしょうか。	左記ご認識の通りです。 調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
16	(第1編) 8	2.6(1)	質問	本調達は短期間であり、契約締結後に作成するプロジェクト実施計画書のスケジュールによっては、成果物が表2.6.1に記載されている納入期日までに完成しないことが想定されます。 「表2.6.1」に示す各成果物の納入期限については、双方協議の上、プロジェクト進捗に影響を及ぼさないことを機構が認めた場合に限り、変更することができるものとする。」と記載されていることから、納入期日は契約締結後、スケジュールに合わせて見直すことができると理解していますが、よろしいでしょうか。	調達仕様書の納入期日を厳守頂くことが原則ですが、双方協議の上、納入期日については、例外的に認める場合があります。
17	(第1編) 10	2.8 図2.8.1	質問	仕様書案に記載されているマスタスケジュール(案)は、提案内容により変更可能であるとの認識でよろしいでしょうか。 短期間で信頼性の高い環境を構築し、大量のコンテンツを新CMS環境へ移行する必要があるため、各作業の関連を考慮しつつ並行で進める必要があると考えております。	マスタスケジュール(案)は機構が想定するスケジュールであり、プロジェクトを実施する上での有用な提案については、プロジェクト実施計画書に作成し、機構と合意の上で確定させる予定です。
18	(第1編) 10	2.8 図2.8.1	質問	「現行ホームページの調査・分析」業務のスケジュールは、P9の「マスタスケジュール(案)」には載っていませんが、「現行ホームページの調査・分析」業務の最終成果物である「機構ホームページの現状調査報告書等一式」は平成27年1月31日までに納入と認識しております。「現行ホームページの調査・分析」業務の作業期間は平成26年10月～平成27年1月31日と想定しておりますが、よろしいでしょうか。	左記ご認識の通りです。 調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
19	(第1編) 11	3.1(1)⑦	質問	「なお、当該業者は、運用・保守期間を含め契約期間中に十分なサポートを行う必要があることに十分留意すること。」と記載がありますが、契約期間中に発生する十分なサポートとは具体的にどのようなサポートを想定していますでしょうか。留意すべき事項を明確にするため、CMSの保守要件について具体的にご教示ください。	「十分なサポートを行う必要がある」とは、受託者が仕様書の要件を満たすために必要な役務の実施にあたり、当該業者に必要となるサポートを不足なく行ってもらう必要があるという意味です。 調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。

項番	仕様書の該当箇所		区分	意見等内容	回答
	頁	章番号等			
20	(第1編) 14	4.2 ③	質問	レスポンスタイムに関する記述について「※本調達内におけるセンタ内ネットワーク」との記載がありますが、ここに記載された「センタ内」とは御提案するシステムを設置するデータセンタ内部のネットワーク(LAN)を指すと考えてよろしいでしょうか。また、これにより、記載されたレスポンスタイムの測定は、Internetを介さず、サーバ機器とLANで結ばれたクライアント端末を用いて実施するものと解釈してよろしいでしょうか。	左記ご認識の通りです。
21	(第1編) 16	5.3	質問	「将来のアクセス量、データ量の増加に備え、サーバのメモリやCPU、ディスク領域の増設等について柔軟に対応できること。」とありますが、拡張にかかる作業及び追加機器は本調達の範囲外であるとの認識ですがよろしいでしょうか。	項番6を参照してください。
22	(第1編) 16	5.6	質問	「大規模災害による被害を想定し、復旧対応に必要な連絡体制や役割分担、障害復旧の手順等の整備を行うこと。」とありますが、大規模災害時のシステム再構築は本調達の範囲外であり、本調達では、体制・役割・手順を整備し、復旧方針を明確にすることと認識しておりますが、よろしいでしょうか。  また、「その実効性を維持改善していくために定期的な訓練等を行うこと」とありますが、訓練とは具体的にどのような作業を想定していますでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記ご認識の通りです。なお、調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。</li> <li>・復旧対応に必要な連絡体制や手順が確実に機能することを確認するために必要な訓練を想定しております。</li> </ul>
23	(第1編) 18	6.3(2)④	質問	「OSやソフトウェアの重大なセキュリティホールに対するパッチ又はバージョンアップソフトウェア等のセキュリティホールを解決するために利用されたファイルが公開された場合は、事前に影響調査及び検証作業を実施し、それらの結果に基づき、対応を行うこと。」とありますが、パッチ等を適用する頻度はどの程度を想定していますでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パッチ等の公開頻度については、導入を想定するソフトウェア等に関する情報を入手する等により把握してください。</li> <li>・Web公開されるシステムであり、原則「公開後、速やかに」実施いただきたいと考えておりますが、「影響を受けないことが明らかな場合」や「適切な代替策が適用されている場合」など合理的な理由がある場合は、事前に機構と協議の上で、定期メンテナンス時に適用するケースもあり得と考えます。</li> </ul>

項番	仕様書の該当箇所		区分	意見等内容	回答
	頁	章番号等			
24	(第1編) 18	6.3(2)⑦	要望	<p>「いかなる方法をもってしてもデータが回復できない手段・方法を用いて」とありますが、データ消去方法について、貴機構が何を持って回復できないことを認めるのか具体的に示すことが望ましいと考えます。</p> <p>(例) 請負期間の終了時には以下の手法を受託者と貴機構との間で合意し、実行すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ消去規格に準拠したデータ消去の実施と証明書の発行</li> <li>・ハードディスク等の物理的破砕の実施</li> <li>・ハードディスク等を機構に引き渡すこと(データ消去等は貴機構にて実施頂く)</li> </ul>	<p>データの消去については、受託者の責において実施して頂くことを想定しており、データ消去規格に準拠した方法で消去実施されたことを示す証明書の提出をもって対応済みといたします。</p> <p>調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。</p>
25	(第1編) 19	6.3(2)⑧	質問	<p>「情報セキュリティ対策の履行状況について、機構から本調達仕様において求める情報セキュリティ対策の実績を求めた場合は、速やかに報告すること」とありますが、以下ご教示ください。</p> <p>①本調達仕様の6.3情報セキュリティ対策の要件の範囲において、履行状況を確認し、報告すると理解していますがよろしいでしょうか。</p> <p>②本調達の範囲は、セキュリティ対策の実績(状況)を報告するのであり、改善等の作業は本調達の範囲外であると理解していますが、よろしいでしょうか。</p>	<p>①本調達仕様において求める情報セキュリティ対策全般に対して報告頂く前提です。</p> <p>②本調達仕様において求める情報セキュリティ対策が実施されていない場合は改善を指示します。その場合の改善作業は、本調達の範囲内となります。</p> <p>調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。</p>
26	(第1編) 20	7.1(2)③	質問	<p>検証環境の要件に「内部環境、外部環境にかかる負荷テスト及びアクセス集中等による障害発生時の再現確認を実施し、その結果を確認できるようにすること。」とありますが、アクセス集中等による障害発生を再現する場合、検証環境は本番環境へ影響を与えないよう、本番環境とは別のネットワーク構成にする必要がありますが、検証環境でアクセス集中による障害発生を再現させる必要はありますか。</p>	<p>アクセス集中に対する分析、対策が適切に講じられれば、検証環境において再現は不要です。</p> <p>調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。</p>
27	(第1編) 22	8(3)②	質問	<p>「受託者は、機構が受入テストを行うための環境を用意すること。」とありますが、検証環境とは別に受入試験環境を準備する必要がありますでしょうか。</p>	<p>検証環境と同一で差し支えありません。</p>
28	(第1編) 23	9.1(2) 【現行CMSの管理下以外のコンテンツ】①	質問	<p>「現行ホームページの保守運用業者が作成したコンテンツを新CMSの管理下に移行する」とありますが、現行CMSの管理下にしていない理由を教えてください。また、該当コンテンツのURLリストなどをご提示いただくことは可能でしょうか。</p>	<p>現行ホームページ構築時に導入したテンプレートでは実現できないレイアウトでの記事の作成が主な理由です。</p> <p>URLリストは契約締結後に提示する予定です。</p>
29	(第1編) 28	9.2(1)①エ	質問	<p>操作マニュアルとして作成が求められているデザインガイドラインは、現行サイトデザインのものでしょうか。それとも、新デザイン案に対するもののでしょうか。</p>	<p>平成27年3月16日の切り替え後運用を開始するサイトのデザインに係るデザインガイドラインです。</p>

項番	仕様書の該当箇所		区分	意見等内容	回答
	頁	章番号等			
30	(第1編) 31	10.1(4)②	質問	障害発生時等の一次対応の項目について、「発生後15分以内にお客様に通知」とありますが、通知の対象は監視装置により容易に検知可能な障害(ハードウェア障害等)であり、ソフトウェアの障害やInternet自体の障害などは含まれないと理解しておりますが、よろしいでしょうか。通知内容によって費用が異なりますので、明記して頂きますようお願いいたします。	発生後ではなく、検知後とします。 調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
31	(第1編) 別紙1-1	機能詳細 No.72	提案	「ディレクトリ(複数の公開済みページ)の内容をすべて複製し、それを基に修正を加え新たなページを作成できること」とありますが、複製したディレクトリを誤って公開することを防止するため、複製機能はコンテンツ単位での操作に限定することをお勧めいたします。(コンテンツ単位で複製する場合は、登録作業と承認作業が必要になりますので、誤って公開するリスクが格段に低くなります。)	コンテンツ単体(個別ページ)の複製機能は必須といたします。 また、ディレクトリの複製機能も効率的な作業のためには有益な機能と認識していますので、当該要件は「任意」とします。 なお、ディレクトリの複製機能を利用して記事を作成する場合も、当然に登録作業と承認作業が必要になると認識しています。
32	(第1編) 別紙1-1	機能詳細 No.88	提案	「語句の一括置き換え機能があること。変更前に差分を比較でき、変更箇所をCSVで出力できること」とありますが、意図しない語句まで置換してしまう恐れがあるため、一括置き替えは許可しないことをお勧めいたします。ページ作成時に「子供」⇒「こども」といったような表記の置換処理を行なう機能をご提案いたします。	仕様書における「語句の一括置き換え機能」はご指摘のような記事の作成時における「子供」⇒「こども」といった表記の置換処理を意味しています。 なお、当該要件は、「任意」要件に変更いたします。 調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
33	(第1編) 別紙1-1	機能詳細 No.111	提案	「Wordの文書について、文面をコピー&ペーストすることにより、改行や文字装飾をそのままの上程でCMSの入力データとして使用できること」とありますが、文字装飾については、ホームページで使用する文字色を限定してサイトの統一感を高めたり、文字色と合わせて読み上げ用の強調タグを追加することでアクセシビリティを高めることができるというような、CMSを利用する利点を生かすためにも、Word文書の情報は保持せずCMSで再度設定する方法をお勧めいたします。	Word文書の情報を保持せずCMSで再度設定することとして、調達仕様書の見直しを行い、当該要件は仕様書(機能要件一覧)から削除します。
34	(第1編) 別紙1-1	機能詳細 No.129	提案	「サイト内のリンクは絶対パスではなく相対パスで管理できること。リンク入力時に絶対パスが入力された場合は自動的に変更すること」とありますが、絶対パスで管理することにより、サイト構成の変更を行なった際にもリンクを掲載しているページのURLを自動的に変更することができるため、絶対パスでの管理をお勧めします。(動的ページの場合は絶対パスで管理するとリンク切れが発生することを懸念されての要件かと推測いたしますが、移行後は静的ページになりますのでそのような問題は発生いたしません。)	当該要件については、削除します。
35	(第1編) 別紙1-1	機能詳細 No.136	提案	「PDF等へのリンクがあった場合に、自動的に「関連ファイル」などの掲載枠へまとめて表示できること」とありますが、1つのコンテンツ内に同じPDF等へのリンクが複数掲載されていると利用者に混乱をきたすため、関連ファイルを自動で纏めるのではなく、作成者が必要に応じて纏める運用をお勧めいたします。	PDF等の関連ファイルを自動で纏めず、作成者が必要に応じて纏める運用として、調達仕様書の見直しを行い、当該要件は仕様書(機能要件一覧)から削除します。

項番	仕様書の該当箇所		区分	意見等内容	回答
	頁	章番号等			
36	(第1編)別紙1-1	機能詳細 No.138	質問	「編集画面のボタン等で可能な文字装飾: 枠作成」とありますが、ボタンでの操作ではなく、枠付きのテンプレートを準備して使用していただく方法でも問題ありませんでしょうか。	テンプレートによる枠の利用でも問題ございません。調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
37	(第1編)別紙1-1	機能詳細 No.147	提案	「SEO関連META要素(keywords、descriptionなど)の入力を強制すること。入力がない場合注意喚起する」とありますが、META要素の情報は多くの検索エンジンが重視しなくなっており、SEO効果は得られなくなってきています。また、入力内容によっては逆効果となることもあるため、入力の強制は実施しないことをご提案いたします。	META要素については、SEO効果が期待できないわけではありませんので、当該要件は「任意」要件に変更します。
38	(第1編)別紙1-1	機能詳細 No.150～No.155	提案	「スマホサイトを独立したサイトとして構築する。PC向けサイトとは別のメニュー体系を実現できること」とありますが、PC版とスマホ版でサイトの構成が異なると、利用者に混乱をきたす上に作成者側の運用も複雑になるため、統一のサイト構成とすることをお薦めいたします。	PC向けとスマートフォン向けのページを同時に生成することは必須の要件とします。ただし、ご指摘のようにPC版とスマホ版でサイト構成が異なる必要性については低いと見做し、要件から削除します。
39	(第1編)別紙1-1	機能詳細 No.175 No.217 No.219 No.306	提案	「サイト管理者が承認ルートや利用権限などを管理者専用画面で変更できること」とありますが、承認ルートは運用に大きく関わる部分であるため変更頻度も低いと思っておりますので、貴機構の依頼により受託者が保守の範囲で変更作業を実施することをお薦めいたします。	承認ルートについては、サイト管理者が承認階層を柔軟に変更することが可能であれば人事異動等に柔軟に対応することが可能となり、必須ではなくとも有益な機能であると認識しております。そのため、サイト管理者が承認階層を変更できる機能を「任意」要件に変更します。
40	(第1編)別紙1-1	機能詳細 No.200	質問	「管理者判断によるページの削除を作成者および関連担当者へ自動通知できること」とありますが、管理者判断による削除とはどのような場面を想定されているのでしょうか。不要になったページを削除するという場面であれば、管理者が削除を行なうのではなく、各ページの作成者の責任で削除を行なう運用をお薦めいたします。公開しているページを緊急で削除する場面であれば、管理者が応急処置として差戻し処理等を行ない、その後各ページの作成者の責任で削除を行なう運用をお薦めいたします。	公開しているページを緊急で削除する場合を想定しています。各ページの作成者等が不在の場合には有益な機能と認識しています。ただし、「関連担当者への自動通知」機能については、「任意」要件に変更します。
41	(第1編)別紙1-1	機能詳細 No.243	提案	「英語ページなど1バイト文字で入力すべきテンプレートで2バイト文字が入力されていないかなどの入力文字のバイト数チェック」とありますが、英語ページでも日本語を使用する可能性もあるため、バイト数チェックは行わず、全角英数字を半角英数字に統一するためのチェックを実施することをお薦めいたします。	当該要件については、削除します。
42	(第1編)別紙1-1	機能詳細 No.252	提案	「作成者がワーニングを無視して掲載依頼した場合、管理者が再チェックをかけなくてもどのワーニングが無視されたかが一覧表でわかること」とありますが、ワーニングを無視して掲載依頼することのできる仕様ではチェック機能の役割を果たしていないと考えますので、ワーニングを無視して掲載依頼することのできないようにすることをお薦めいたします。	当該要件については、削除します。

項番	仕様書の該当箇所		区分	意見等内容	回答
	頁	章番号等			
43	(第1編)別紙1-1	機能詳細 No.258	提案	「作成者及び承認者が作業中、未来日のサイトを確認できること」とありますが、作成者、承認者単位で未来日のサイトを確認できるようにした場合、CMSにかかる負荷が大きくなるため、ページ単位での確認をお勧めいたします。	当該要件については、削除します。
44	(第1編)別紙1-4 6	(1)3	質問	「文言は、コンテンツもしくはカテゴリごとに、随時、機構が無償で変更できること。」とありますが、変更作業を行うのは、貴機構の依頼により受託者が保守の範囲で変更作業を実施すると理解しておりますが、よろしいでしょうか。	左記ご認識のとおりです。
45	(第1編)別紙1-4 6	(1)5	提案	「入力画面には確認ボタンがあり、押下すると確認画面に遷移し、閲覧者が入力内容を確認できること。」とありますが、「2.コンテンツのアンケートフォーム」のようにコンテンツ内に掲載するアンケートの場合は、質問項目数は通常2～3問程度で、かつ個人情報を入力するような用途では使用しないと考えられますので、確認画面を挟まず結果画面に遷移することをお勧めいたします。(画面遷移数が多くなると煩わしさを感じる利用者が多いため、不要な画面遷移は避けることをお勧めいたします。)項目数の多いアンケートや個人情報を入力するようなアンケートの場合は、別紙1-4のP7の「3.アンケートページのフォーム」で別ページとして作成していただく運用をお勧めいたします。	ご指摘のとおり、確認画面を挟まず結果画面への遷移で問題ないと考えます。別紙1-4のP6(1)5は削除します。
46	(第1編)別紙1-4 6	(1)7	質問	「閲覧者が入力し確認ボタンを押下した際、形式チェック、必須項目チェックを行なうこと。チェック項目・内容は機構と協議すること。」とありますが、(1)6に「ラジオボックスによる選択ボタンと、フリーの入力欄を有する」と書かれていますので、この2つの形式であれば、形式チェック、必須項目チェックは不要との認識ですがよろしいでしょうか。	ご指摘のとおり、別紙1-4のP6(1)7及び8、9の一部は削除します。
47	(第1編)別紙1-4 6	(1)9	質問	「確認画面では送信ボタンを押下すると、送信結果画面を表示すること。表示する定型文は機構が無償で変更できること(年に1回程度)。」とありますが、変更作業を行うのは、貴機構の依頼により受託者が保守の範囲で変更作業を実施すると理解しておりますが、よろしいでしょうか。	左記ご認識のとおりです。
48	(第2編)3	3.2 表3.2.1	質問	記録管理システムから回付される適用事業所情報のインタフェース仕様について確認させてください。 ①ファイル形式(CSV等) ②文字コード(EBCDIK、シフトJIS、UTF-8等) ③外字有無(外字がある場合は、外字の仕様についてご教示ください。) ④暗号化有無	ご指摘の内容をふまえ、調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
49	(第2編)3	3.2 表3.2.1	質問	検索は「あいまい検索」も可能とするとありますが、あいまい検索とは文字列の部分一致(前方/中間/後方)を指すと考えてよろしいでしょうか。	左記ご認識のとおりです。

項番	仕様書の該当箇所		区分	意見等内容	回答
	頁	章番号等			
50	(第2編) 4	3.3 図3.3.1	質問	留意事項欄内に検索結果はポップアップ画面で表示されるとあります。これに対して図3.3.2の検索結果画面のイメージ内に「検索画面に戻る」というボタンがありますが、このボタンの動作としては、検索結果画面を閉じずに検索画面を手前に表示すると考えてよろしいでしょうか。	「戻る」ボタンではなく、「閉じる」ボタンとし、画面を閉じる機能となります。 調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
51	(第2編) 別紙2-1	-	質問	適用事業所情報のデータ項目に「事業所カナ所在地」がありません。別紙2-3外部インターフェース事業所情報データレイアウトにはシステムに収録する項目に含まれています。データ項目には「事業所カナ所在地」を含めると考えてよろしいでしょうか。	左記ご認識のとおりです。 調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
52	(第2編) 別紙2-1	-	質問	適用事業所情報の事業所漢字名称について「全角・半角混在」とあります。事業所検索画面により入力する、事業所名称は全角のみとあるため矛盾していないでしょうか。また、事業所カナ名称の属性が9タイプになっておりますが、Cタイプの誤りでしょうか。	全角・半角混在となります。 調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
53	(第1編) 3	2.3	提案	現行ホームページを踏襲し、原則変更は行わない想定とのことですが、新ホームページの構築・コンテンツの移行等の改定ポイントと乖離し、切替後に再度大規模な投資が発生する懸念があります。「(1)現行ホームページの調査・分析」の簡易版を事前に実施し、その結果を調達仕様書に添付することで、受託者から期限内に出来る範囲での提案を促す進め方を提案します。	現在の方針を変更する予定はございません。
54	(第1編) 3	2.4(1)②	質問	〔現行ホームページの調査・分析業務〕に際して、ねんきんネット・コールセンター・事務所といった、ホームページ以外のサービスチャネルを含めた貴機構におけるチャネルの在り方を検討した上で、ホームページの評価を行う、といった段取りを予定されているでしょうか。  (背景) 国民に対して、情報提供含めた年金関連サービスを、いかに利便性高く、効率的に提供することを目指して、改善を進めていくにあたっては、すべてのサービスチャネルを含めて、統合的にチャネルの在り方を考え、その中でのホームページの位置づけを見直すことが重要と考えます。	現行ホームページの調査・分析等は、様々なサービスチャネルの存在を踏まえ、理想的なサイト構造案の検討をお願いいたします。

項番	仕様書の該当箇所		区分	意見等内容	回答
	頁	章番号等			
55	(第1編) 3	2.4(1)②	質問	<p>「現行ホームページの調査・分析業務」に関して、今回に限らず、今後も継続的な分析とそれに基づく継続的改善を進めていく予定はありますでしょうか。</p> <p>(背景) 今回のホームページリニューアル、並びに、現行ホームページ調査・分析に基づく今後の再リニューアルを機に、貴機構ホームページの利便性が大きく向上することと思いますが、良いホームページに仕立てていくには、単発の改善に留まらず、継続的に分析を行い、継続的にマイナー改善を続けていくことが重要と考えます。もし、それを担う機能が現時点でないのであれば、それをホームページ運用機能に持たせることが有効と考えます。</p>	<p>ご指摘のとおり、ホームページは継続的に分析を行い、常に改善を続けていくことが重要と思料します。そのため、本調達で調査・分析を行い、サイト構造案及びデザイン案の作成を実施することとしています。なお、今後にどのように継続的な改善を実施していくかは、仕様書2.4(1)の記載のとおり「当該案に基づく改善は、必要に応じて別途調達する予定」としているところです。</p>
56	(第1編) 3	2.4(1)②	質問	<p>「現行ホームページの調査・分析業務」における、「ユーザビリティ調査」や「ヒューリスティック調査」において、必要に応じて国民へのアンケート等、閲覧者側への聴き取りを実施することは可能と考えてよろしいでしょうか。また、そういった国民視点でのHP評価をする際に必要となる情報を共有いただけますでしょうか。</p> <p>(背景) ホームページのユーザビリティ改善には、利用者である国民視点での整理・分析が重要と理解しております。貴機構から提示される「業務的観点からの見直し案」に、どの程度この観点が含まれているかによりますが、弊社の知見・ノウハウに基づくサイト評価だけでなく、実際の利用者の生の声・評価をふまえた国民視点での検討を実施することが望ましいと考えます。</p>	<p>ご指摘のとおり、機構ホームページの利用者は国民の皆様であり、「ユーザビリティ調査」では自ずと国民視点での整理・分析が必要となると認識しています。その具体的な手法について、国民の皆様へのアンケートを否定するものではありませんが、実施にあたっては機構と十分協議のうえ実施することになります。</p>
57	(第1編) 8	2.6(2)	提案	<p>③にて納品ファイル形式は、2007形式となっておりますが、p.29においては2010形式となっておりますので、2010形式に統一することを提案いたします。</p>	<p>調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。</p>
58	(第1編) 9	2.7	質問	<p>現行ホームページと並行稼働の際、新ホームページは限られたユーザー(例:機構職員等)にのみアクセス許可する方法を想定していますか。</p>	<p>平成27年3月16日の新ホームページへの切替日以降、平成27年3月31日までの並行稼働期間中は、新ホームページで運用し、障害が発生した場合は、現行ホームページへ切り替える運用となります。従って、並行稼働期間中は、アクセス制限は設けず、誰でもアクセス可能とします。</p>
59	(第1編) 11	3.1(1)②	提案	<p>JISX8341-3:2010と同等規格であるWCAG2.0のLevel AAもグローバル製品に対する公平性から併記することをご提案いたします。</p>	<p>機構は、総務省が作成した「みんなの公共サイト運用モデル」の方針に従い、日本工業規格であるJISX8341-3:2010に基づきアクセシビリティの維持・向上を実践していくこととしております。そのため、ご指摘の規格を併記する予定はありません。</p>

項番	仕様書の該当箇所		区分	意見等内容	回答
	頁	章番号等			
60	(第1編) 15	5.1(5)	質問	「機構ホームページによる情報発信の継続を可能にすること」とは、CMSサーバーが停止していてもWEBサーバーが稼働し、事前に用意した情報を発信している状況でしょうか。それとも代替手段によって、CMSサーバーを介さず、何か新しい情報をWEBサーバーに配置して情報発信できることも想定しているのでしょうか。	前者の、CMSサーバーが停止していてもWEBサーバーが稼働し、事前に用意した情報を発信している状況です。
61	(第1編) 19	6.3(4)	質問	第三者による脆弱性検査は機構側が選定し、サービス費用は調達対象外と想定していいでしょうか。	費用も含め受託者で手配お願いします。 調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
62	(第1編) 20	7.2①	質問	CMS等の製品は汎用製品を想定していますが、カスタム開発が必要な領域においては、弊社にて知的所有権を保持しているアセットを活用することは可能でしょうか	ご指摘のアセットの意味が明確ではありませんが、機構が技術的にも、法的にもCMS一体の機能として利用できるのであれば問題ありません。
63	(第1編) 21	7.3	質問	PDFファイルを除き、移行対象となっている現行ホームページで公開している全てのコンテンツは既に等級A準拠されている想定でしょうか。仮に受託者による試験時に未達成なコンテンツがあった場合、機構側に修正を依頼出来るのでしょうか。	一部等級A準拠されていないコンテンツが存在すると認識しています。 そのため、「9.1 移行に係る要件」における「(4)②移行手順の検討」及び「(5)コンテンツの品質」において、受託者は「『アクセシビリティ要件』に示すアクセシビリティ要件等を満たすために必要な修正を実施する」旨を要件としています。
64	(第1編) 21	7.3	質問	「CMS担当者が意識せずとも等級AAに準拠したコンテンツ作成を可能とする機能」とはWCAG 2.0のlevel AA準拠チェックを実施し、担当者に修正候補を提示する形でも問題ないでしょうか。	日本工業規格であるJISX8341-3:2010の等級AAに準拠したコンテンツ作成を可能とする機能である必要があります。
65	(第1編) 25	9.1(4)②	質問	最終移行作業開始後、「切替日までに現行ホームページ更新」を停止、または機構職員による両ホームページの手動更新を想定していいでしょうか。	更新を完全に停止することは困難ですので、切替日前日までの更新を反映する必要があります。 機構職員による手動更新を想定することは差し支えありませんが、極力機構に負担のかからない差管理・取込手順を検討し、提案してください。
66	(第1編) 40	11.4	質問	瑕疵対応期間は、本調達のサービス提供中となる運用維持期間終了時の平成31年3月31日でしょうか。	左記ご認識の通りです。
67	(第1編) 41	12.1	質問	「18.3 再委託」(4)の表記は、「12.4 再委託」(4)の間違いでしょうか。	項番4を参照してください。
68	(第1編) 41	12.2(3)	提案	JISX8341-3:2010と同等規格であるWCAG2.0のLevel AAもグローバル製品に対する公平性から併記することをご提案いたします。	項番59を参照してください。
69	(第1編) 41	12.2(3)	質問	実績有無はなにかしら証明(ツール実行結果の提示等)が必要でしょうか。	ツール実行結果の提出は不必要ですが、様式を別途提示する予定です。また、当該サイト管理者へ機構より問い合わせを行う場合があります。

項番	仕様書の該当箇所		区分	意見等内容	回答
	頁	章番号等			
70	(第2編) 6	4.2	要望	第1編同様、「本調達内におけるセンタ内ネットワークのサーバ・ネットワークの応答時間の目標値を示す」と追記していただきたい。	ご指摘をふまえ、調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
71	(第2編) 7	7.2	要望	公平な選定を行う観点から、開発言語「Java」と同様に広く開発者が多い「C#」も加えていただきたい。	機構における担当職員の習熟度を勘案し、Javaとしたものであり、現在の方針を変更する予定はございません。
72	(第1編) 3	2.4(1)	質問	本調達の役務はサイト構造及びデザイン案の提出までとし、当該案に基づく改善は、必要に応じて別途調達する予定であるとありますが、サイト構造及びデザイン案の提出は、本件の「構築委託業務」には関わりませんが、次回の調達に向けてサイト分析及び改善案、デザイン案をまとめて調達するという認識でよろしかったでしょうか？	左記ご認識の通りです。
73	(第1編) 3	2.4(1)	提案	項番72にも紐づきますが、まずはCMSを移行されて次に別途デザイン・サイト構造を見直しリニューアルされるというスケジュール感でいきますと、併いテンプレートや各機能など様々改修が必要となるケースが想定され、費用が二重にかかることが懸念されます。同スケジュール内で、デザイン・構造・CMSすべてをリニューアルされるようなご検討はいかがでしょうか？	早急に安定的な稼働を図ることが喫緊の課題であり、デザインの決定にはある程度の期間を要すると考え、スケジュール面も考慮した上で、現在の方針を決定したものであり、変更する予定はございません。
74	(第1編) 11	3.1②	質問	JIS-X-8341-3:2010の達成等級AAIに準拠したページ作成を行うことができる機能を備えていることとありますが、こちらは今後アクセシビリティ基準に変更があった場合でも、2010で定義するという事で問題ありませんでしょうか？	変更が発生した場合は、機構と協議の上、決定となります。調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
75	(第1編) 11	3.1⑦	質問	CMSについては、機構と同程度の規模を有する民間企業または行政機関(府省庁もしくは政令指定都市)における十分な稼働実績を有するCMSであるとありますが、①同程度の規模とはCMSの機能として、でしょうか。それともページ数(サイトボリューム)としてでしょうか？②行政機関には独立行政法人も含まれますでしょうか？	①同程度とはCMSの機能ではなく、ホームページの閲覧対象者数及びその規模に伴うアクセス数並びにコンテンツのボリューム(ページ数)を想定しています。 ②独立行政法人であっても上記①を満たすものであれば、同等のものと判断いたします。 調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
76	(第1編) 15	5.1(3)(4)	提案	ネットワークとIDCに関する要件ですが、セキュリティ及びバックアップ要件として二拠点間の冗長性はご検討されませんか？先般の東日本大震災を皮切りに、データセンターが災害に巻き込まれたとしてもWEBサイトからの情報発信を可能とするために、上記対策を検討される公共・民間企業様が増えております。	現在の方針を変更する予定はございません。
77	(第1編) 16	5.6	提案	項番76と同じく、人による訓練だけではその信頼性にも限界がございます。重ねてご検討いただけますと幸いです。	現在の方針を変更する予定はございません。

項番	仕様書の該当箇所		区分	意見等内容	回答
	頁	章番号等			
78	(第1編) 19	6.3(4)	質問	切り替え日前に入力フォームやWEBサーバの設定などについて、第三者による脆弱性の検査を行うこと、とありますが、こちらの脆弱性検査を行う第三者は受託者が用意するというのでしょうか？それとも貴社で選定された業者様よりの検査を受け、対応するという認識でしょうか？	項番61を参照してください。
79	(第1編) 24	9.1(3)③	質問	CGIの実装という項目ですが、こちらは目的を成す機能を要していれば、CGIにこだわらず実装することを要件とされているという認識で相違ないでしょうか？	CGIにはこだわりませんが、内容を提示頂き、機構の承認が必要となります。調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
80	(第1編) 36	11.1(2)	質問	統括責任者の条件として、①②③の条件を全て満たすものということでしょうか？または、①②③のうちどれかを満たすものということでしょうか？	①②③の条件全てを満たすものとなります。
81	(第1編) 37	11.1(2)	提案	ご提案であり要望となりますが、項番80のご質問に重ね、資格要件を満たしたとしても業務遂行要件を満たすとは限りません。たとえば④機構と同規模案件をプロジェクトマネジメントを職責として遂行経験のあるものを統括責任者に据えることという一文を追加ご検討いただくことは可能でしょうか？	統括責任者の条件にサイトリニューアルの経験等の条件を追加します。 調達仕様書の見直しを行い、本公示において提示します。
82	(第1編) -	別紙1-5	質問	SLAの内容及びSLMの期間に関しては双方協議の上という認識で相違ありませんでしょうか？	別紙1-5に示すサービスレベルを遵守することを前提に、双方協議の上での決定事項となります。頂きましたご意見をふまえ、見直しの上、本公示において提示します。